



コガモの求愛行動 全長約38cm。写真中央の茶褐色のがメス。その他はオス=2008年4月3日 成田篤彦撮影



えさをとるコガモ 流されては舞い戻ってくる。北半球北部で繁殖し、上総では冬期に堰、河川、公園などで見られる
=2010年1月30日 成田篤彦撮影

○千葉県2002『千葉県の自然誌本編6千葉県の動物1・陸と淡水の動物』、山溪カラー名鑑『日本の野鳥』山と渓谷社。

いざれにせよ彼らはこの地でつがいになつて4月には繁殖地の北方の山間部の池に戻つていく。彼らが無事に子育てをして、再び戻つてきて欲しいと願つている。

そのせいで、訪れるコガモの数が年々少なくなつてゐるのでは?と思つた。つまり、夕方になるとムクドリのねぐらを襲つてゐる。同じオオタカがコガモに攻撃を加えたのかもしれない。

秋から冬かけてヤナギの大木に止まり、夕方になるとムクドリのねぐらを襲つてゐる。同じオオタカがコガモに攻撃を加えたのかもしれない。

ほどの川下では3年前からオオタカが秋から冬かけてヤナギの大木に止まり、夕方になるとムクドリのねぐらを襲つてゐる。同じオオタカがコガモに攻撃を加えたのかもしれない。

いざれにせよ彼らはこの地でつがいになつて4月には繁殖地の北方の山間部の池に戻つていく。彼らが無事に子育てをして、再び戻つてきて欲しいと願つている。

かずさの博物誌

コガモ

~くり色頭の小型のカモ~

文・写真／成田篤彦

オスがメスを追いかける。
ときどきオスが背をそらせ
てお尻の羽毛をピンと上げ
三角模様を目立たせる。ま

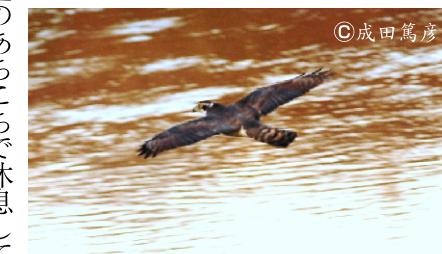
た、メスの前でくちばしを持ち上げる。ときには翼を広げて羽ばたく。これはみな、つがいをつく
るためのオスの求愛行動だ。メスは

オスに全く関心がないよう¹に泳いでいるが、気に入つたオスを選んでこ

の場所でつがいをつくる。アシが生える岸辺ではすでにつがいになつたオスとメスが目を閉じてくちばしを胸の間に入れて眠つていた。他のカモより小さく、全体として黒っぽい色の場所ではこのような光景があちこちで見られる。

飛ぶコガモ

危険を感じたのか一斉に飛び上がる
=2007年12月20日 成田篤彦撮影



コガモを襲ったオオタカ
カラスがこのタカを追い払った
=2010年2月3日 成田篤彦撮影